

第175回国際研修（犯罪者処遇）：オンライン実施
「女性犯罪者の処遇」

1 日程及び参加者

- 令和3年10月26日（火）から同年11月11日（木）まで
- 海外参加者11か国・地域21名

2 研修概要

本研修では、女性犯罪者の処遇に焦点を当て、女性に特有のニーズに配慮し、性差に対応した社会内及び施設内処遇を実現するための知見や理解を深めることを主要課題とします。

3 研修実施方法

新型コロナウイルス感染拡大状況に鑑み、オンライン形式により実施します。研修員のいる国の時差や勤務日等を考慮し、事前収録した講義をオンデマンド配信するほか、研修員は時差帯により2セッションに分かれた上で、講師との質疑応答、討議、個人発表をライブセッションで実施します。最後に、自国における女性犯罪者の処遇を充実・改善するためのアクションプランを作成し、本研修の成果物として発表してもらう予定にしています。

4 客員専門家等

本研修においては、アジ研教官に加え、以下の客員専門家・外部講師による講義を行う予定です。

【客員専門家】

- ステファニー・コビントン氏（米国）

Institute for Relational Development 及び Center for Gender & Justice 共同代表

【外部講師】

- 上岡陽江氏
ダルク女性ハウス代表
- 木下登志美氏
更生保護施設両全会施設長
- 小田切真理氏
仙台矯正管区成人矯正第二課長